

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

# KoKoLab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 93

2021.October

完成現場報告 島田市 / 『信の家』

余白を楽しむ暮らし。  
—敷地条件を活かす間取りと動線—



道路からの外観。シンプルな切妻屋根と左官で仕上げた外壁が清々しい印象となった。アプローチに植えたアオダモ、坪庭に植えたヤマボウシが来客を楽しませてくれる。



玄関を少し下げて大きな屋根で囲う事で、道路からの視線を避け、雨や風の影響を受けない玄関ポーチになった。さらにHさんのお宅は坪庭まで通り抜けられるようにした事で風や視線が抜け、緑の見える心地よい玄関ポーチが出来た。

今年も暑かった夏が過ぎ、虫の鳴き声や風が心地よい季節がやってきました。年々夏の暑さが厳しくなりますが、秋は一段と過ごしやすく、心地よく感じます。日本には四季があり、それぞれの季節で暮らし方に違いがありますが、やはり窓を開けて快適に過ごせる季節は、心も穏やかに、家にいる時間が幸せに感じます。昨今の状況からリモートワークなどで家にいる時間が長くなった方も多いと思います。オフィスの空調の中の仕事に比べ、窓を開けて心地よい風を感じる仕事時間も良いものだと思います。先日お伺いしたHさんもりモーターワークを取り入れ、家にいることが長くなったので、コロラボの端材で木工をしたり、庭の植栽を増やしたりする時間が楽しいと話していました。Hさんのお宅は、ちょうど2年前の夏に完成しました。どの部屋も明るく風通しの良い住まいで、ご夫婦と3歳になるお子さんの3人暮らしの住まいです。Hさんと初めてお会いしたのは、当社の展示場『こらぼの家』のイベントでした。オープンして日の浅い展示場をたくさんの方に見ていただこうと、毎月テーマを変えてイベントを行い、建物内部の見学を行っていました。Hさんご夫婦はふらつと立ち寄ってくれた感じで、まだ具体的ではないけど、ゆくゆくは木の家を建てたいと話していました。その後何度かお話を重ね、ゆつくりと家づくりをスタートしました。



完成現場報告  
島田市 / 『信の家』  
文・写真 / コロラボ 山崎健治

余白を楽しむ暮らし。  
敷地条件を活かす間取りと動線

薪ストーブと吹き抜けのある広間。子供が小さいうちは円卓を中心にした床座の生活。ハイサイド窓や坪庭の緑が広間に明るさと彩りを与えてくれる。



広間は縦に伸びる吹き抜け空間とした。東西に設けたハイサイド窓から一日中光が差し込み、明るく開放感のある広間となった。西のハイサイド窓には障子を設置、西日が柔らかい光に変わり、穏やかな雰囲気をつくっている。



階段下にはちょっとした収納とスタディーカウンターを設けた。細々した日用品や書類の収納、書物やパソコン仕事など、毎日の生活に欠かせないスペースとなった。



坪庭に面した位置に階段を設置。上下に設けた窓から緑が見え、ワクワク感のある階段スペースになった。アイアンで製作したササラと手摺りは、スッキリとしながらも存在感のある階段になった。

## 余白をつくる間取り

家づくりは土地探しから始まりました。いくつかの候補地を見て回り、希望や条件、土地の状況を見て今回の敷地に決定しました。選んだ敷地は静かな場所でも十分な大きさがあり、駐車スペースや1階を主体とした平家的な間取りも出来そうな敷地でしたが、東西に少し細長く、南と北に家が建っている状況でした。東と西は開放されていますが、やはり南の家の影や視線が気になります。日当たりやプライバシーについては少し心配もありました。今回の土地のように南側に家が建っているケースは特別な事でなく、住宅地であればよく見かける状況です。当然南側に道路などの空地があれば日当たりの心配はないのですが、車や人の往来、視線などが気になり、プライバシーの面で欠点になります。敷地には利点と欠点がありますが、今回のように南側に建物がある場合、建物の形を工夫して適度な余白をつくるように心掛けています。余白と言っても無駄なスペースをつくるという事では無く、坪庭や中庭、ウッドデッキなどの外部空間を意図的につくり、隣家との間に適度な緩衝空間をつくります。その緩衝空間に合わせて部屋の配置や動線を考え、隣家が気にならないように窓や水廻りの配置を行います。建物は単純な形ではなく、凹凸のあるプランが生まれ、視線の先に植栽が見え、坪庭や中庭を通して光と風を室内に取り込む事が出来ます。豊かな外部空間が出来ることと自然と窓を開ける回数も増え、室内だけのスペースではなく、外部と一体となった暮らしを送る事が出来ます。Hさんの間取りを見ると、玄関と広間の間に坪庭があり、広間と和室の間にデッキスペースがあります。坪庭は、玄関や廊下、広間の窓から見え、また階段の窓を通して2階からも望む事が出来ます。坪庭に植えたヤマボウシの緑が室内に取り込まれ、清々しい景色を室内から楽しむ事が出来ます。広間と和室の間に設けたデッキスペースは朝日の当たる心地よいスペースです。朝の光を広間や和室に取り込み、1日の始まりに活力をもらいます。デッキスペースは布団や洗濯物を干したり子供の遊ぶスペースとしても活躍します。南の家の影や視線を考慮して作った凹凸のあるプランですが、平坦なプランでは生まれなかった余白のスペースが暮らしに彩りと快適さを生み、変化のある暮らしを送る事が出来るプランが出来上がりました。



子供室に置かれた木の遊具。はしごやうんてい、のぼり棒のある遊具は、Hさんのお父さんの作品。この遊具はインターネットで販売されているそう。



タモのカウンターに陶器の手洗いを埋め込んだ洗面化粧台。大きな鏡やちょっとした棚板など、シンプルだが使いやすい洗面化粧台になった。

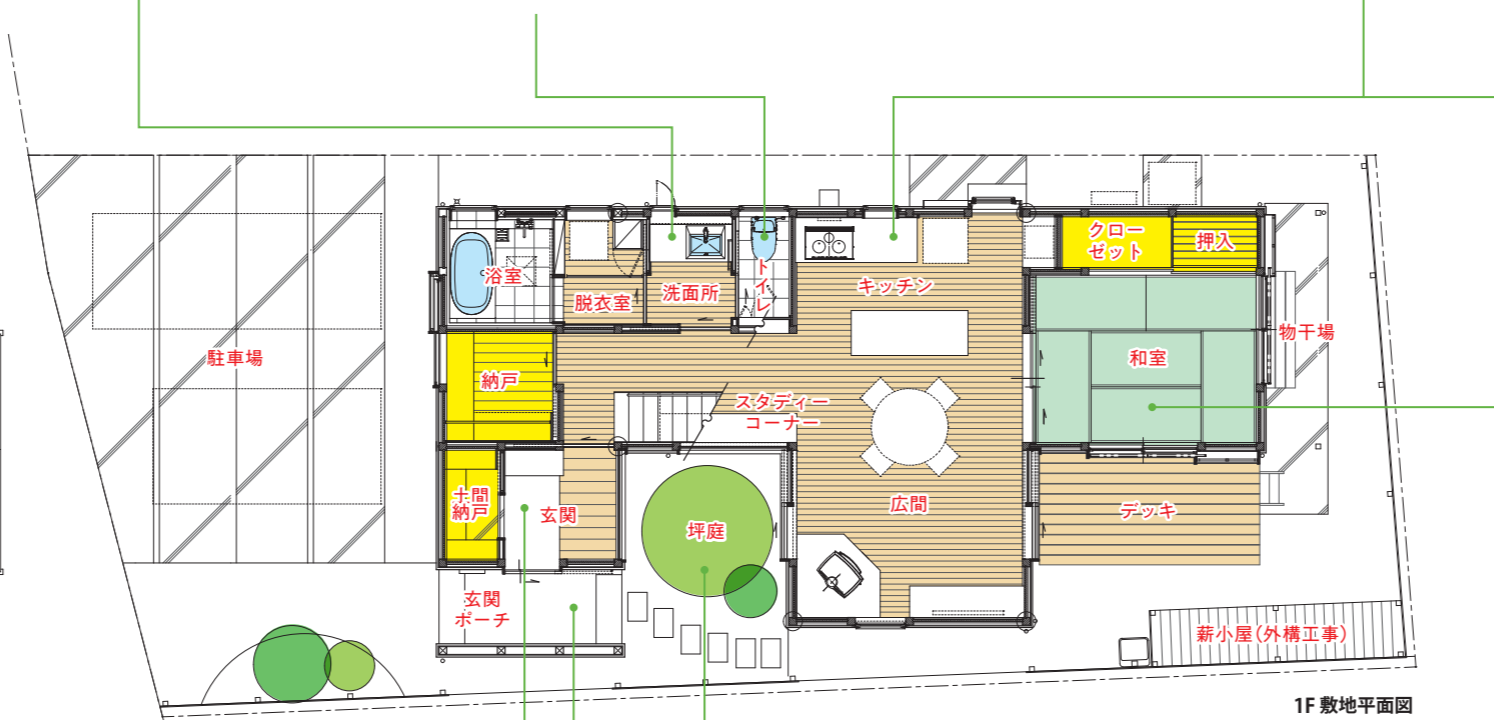
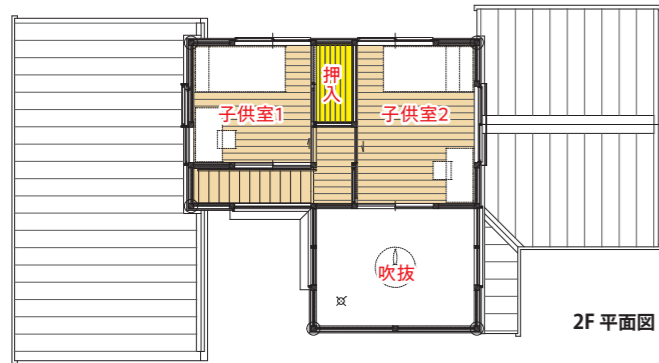


こらぼ市の端材を使って、Hさんが子供用にトイレの踏み台を製作。木は端材になってもいろいろな所で役に立ち、誰でも加工できるので素晴らしい。

シンクカウンターとコンロカウンターが二の字型に並んだキッチン配置。シンクとコンロの位置が離れるが、作業スペースが広くて使いやすいと好評。



広間に面してアイランド型のキッチンを設置。二方向からの出入りや、広いカウンターがとても使いやすい。キッチンの壁はホーローで仕上げ、家族の掲示板として活躍している。



玄関内部。坪庭を望む大きなガラス窓が特徴。コンパクトなスペースだが、大きなガラス窓が広がりを感じさせている。



縦格子とアイアンで製作した玄関引戸。木製だが、ポーチ屋根に守られているのでとても状態が良い。



基礎工事が始まる前に植えた坪庭のヤマボウシ。何度も植木屋さんに行って選んだ思い出のシンボルツリー。低木や下草は余暇の楽しみとして少しずつ植えている。



広間とつながった6畳の和室。用途に応じて閉じたり開けたりしながら重宝に使っている。現在は家族の寝室として利用。



引き渡し当初、坪庭を囲んだプランがちょっと照れくさいと話していたHさん。でも暮らしていくうちに無くてはならないスペースとなり、思い切ってこのスペースをつくって良かったと話してくれた。

### 仕様内容

家族構成	家族3人
敷地面積	170.77㎡
建築面積	70.08㎡
延べ床面積	84.47㎡
構法	落とし込み板壁構法
屋根	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板角波タテ貼 マサ土掻き落し仕上げ
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、タモ(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚12mm
壁	青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm 杉落とし込み板現し、漆喰塗、 青森ヒバFJ本実板張り
床	栗本実板 厚15mm、杉本実板 厚12mm
内部建具	木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスヘアライン天板 オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル洗面化粧台(タモカウンター)
浴室	オリジナル浴室(壁・天井：青森ヒバFJ、 床：サーモタイル)
竣工	令和元年8月



浴室に続く脱衣室も木の内装。水廻りに木を使うと傷んだりカビたりするのは？と思う方が多いが、木の吸湿性を考えると理にかなっている。



ココラボ定番の木のお風呂。青森ヒバとサーモタイルでつくるお風呂は清々しく心地よい。黒やグレーのタイルが多い中、白いタイルは意外とレア。明るく清潔感のある浴室になった。

### 適材適所での木材利用

ココラボのつくる木の家は、地域の杉や桧を活用した木組みの家を軸に行っています。今回ご紹介しているHさんの家も地域の杉や桧を構造材や仕上げに使い、耐久性の高い木の家となっています。地域木材を使用する事は住まい手だけでなく環境にも大きなメリットがあり、様々な面で負荷の少ない家づくりを行う事が出来ますが、適材適所での木材利用を考えると、杉や桧以外の木材も必要になってきます。ココラボでは主に栗や桜などの広葉樹を床板に使い、青森ヒバやサワラなどを浴室などの水廻りに使用します。Hさんのお宅も広間の床には栗、浴室の天井と壁に青森ヒバを利用しました。栗は適度な硬さがあり木目も綺麗な木材です。また傷や凹みにも強く、暮らしや家具の選択に合わせて提案しています。栗の床板は柱や梁に使われている杉や桧とも相性が良く、色合いや木目などを気に入って採用される方も多い木材です。浴室の天井と壁の青森ヒバは何と言っても耐水・防カビ性の高さで選択しています。私の自宅の浴室も青森ヒバでつくり、すでに19年の歳月が経過していますが、気になる傷みや黒ずみも少なくとても快適です。10年点検などでお伺いすると小さな黒ずみなどを見るお宅もありますが、専用の汚れ取りで綺麗にする事も出来るので、ちょっとしたメンテナンスで、長く快適に使用出来ます。今回Hさんのお宅の浴室にも採用しました。2年経過した状態を見ても全く汚れが無く、とても綺麗でした。青森ヒバは色艶の他に清涼感のある香りも特長です。毎日の疲れを癒す浴室、やっぱり木のお風呂がいいですね。Hさんのお宅には、栗や青森ヒバの他にもタモやナラを利用しています。カウナーなど利用頻度の高い場所には硬いタモを使い、住まい手だけで無く来客も利用する玄関には、木目の綺麗なナラを使いました。木材は腐ったり欠けたりといった欠点も多い材料ですが、優しい触り心地や綺麗な木目、安らぐ香りなど、暮らしの中で大切な心地良さを与えてくれる材料です。欠点を認識した上で、使う場所や取り付け方などを検討し、長く安心して使う事が出来る木の家をつくっていきたいと思います。

Hさんの木の家暮らしも2年が経ち、新しい暮らしと同時にコロナ禍による新しい生活スタイルも始まりました。雑談の中で、コロナ禍に入る前に家づくりをする事が出来て良かったと話していました。「もし今もアパートで生活していたら、子供も大人も窮屈な思いをしていたと思う。今は逆に家に居る時間がとても心地よく、家族で植栽や木工を楽しんでいる。」変化の多い現代、今後も生活スタイルは変わっていくと思いますが、木の家と共に家族皆元気に楽しく過ごしてください。

# 元気一杯！ 笑顔になる野菜

～心も体も元気になって、笑顔になる野菜～

Lalala PLaNET plus (ラララ・プラネット・プラス)

蓮華寺池公園近くにある無農薬野菜の八百屋です。地元の新鮮でおいしいお野菜、有機野菜や自然農法の野菜を取り扱い、お野菜を中心とした心と体がほっこりするランチも大好評。元気で笑顔になるお野菜を食べに買いに来てください。  
[住所] 藤枝市若王子1-2-34 [Facebook] LalalaPLaNETplus  
[TEL] 090-1985-6285 [Instagram] lalala\_plus.kumi

## 瀬戸谷めぐみ茶園

Lalala PLaNET plus さんで取り扱っている安心安全な野菜は、どのような農家さんがどのようなこだわりをもってつくっているのでしょうか。採れたての野菜を届けてくださる農家さんの想いをご紹介します。

『瀬戸谷めぐみ茶園』のめぐみさんは瀬戸谷でお茶をつくられている生産者さんです。めぐみさんの出身は神奈川県湘南辺り。その彼女がご縁あって藤枝に住み、お茶づくりをしています。そのきっかけは『東日本大震災』。元々農業に興味があって、いつかやってみたくて思っていた時に震災を経験し『環境により暮らしをつくりたい。食べ物をつくりたい。都会でなく田舎の方で暮らしたい』と思い農業の仕事へ。

『お茶は湿度や風通しで茶葉に病気が出ることもあります。剪定の工夫で元気でよい状態の茶葉を育てることに力を入れています。また肥料を入れる量や種類で味にどう影響するか、つくりたいお茶の種類（煎茶か紅茶か）やどのような味のお茶にしたいのか、肥料や土づくりは未だ手探り状態ですが、やりがいのある仕事です。基本的にはお茶の加工は茶工場にお任せしているのですが、小規模な茶工場自分で加工に関わらせてもらい、自分で製茶の機会をつくりたいです。そして手摘みや手揉みなどお茶づくりに関わる体験会などを、お茶に興味のある人に向けてやってみたくて思っています。生産者なので淹れ方について聞かれることも多いですが、自分の好みの淹れ方や飲み方を見つけてもらうのが一番うれしいです。自給農業、家庭菜園やライフワークとして畑を楽しむ人が増えるのも嬉しいですね。野菜やお米・お茶でも、季節がくればあちこちで（農家さんだけでなく当たり前話題として）「今年の野菜の出来具合は…」などと、話が出るような社会になったらおもしろいなと思います。』



めぐみさんはとても誠実で真っ直ぐな方。その人柄がお茶の味にも出ていて、ファンも多いです。これからもお茶づくりを探求してさらに美味しいお茶をつくらせて静岡を…藤枝を盛り上げていってほしいと思います。季節ごとにお店で店頭販売や試飲会などを行っているの、ぜひめぐみ茶園さんのお茶を飲んでみてください。

### かぶのサラダ

- 1) かぶを薄めに切り、塩もみをしてしばらく置き、しんなりしたら水洗いをして、水気を絞る。
  - 2) ボールにかぶ、ツナ(油ごと)、塩昆布、マヨネーズ、少しめんつゆを入れて和えるだけ。
- ※かぶが甘くて美味しくついついいっぱい食べちゃいます。  
※無農薬のかぶなら、皮を剥かず食べてください。



### サツマイモのバター醤油煮

- 1) サツマイモを適当な大きさに切り、鍋に半分程度水を入れて醤油、砂糖を入れる。
  - 2) 落とし蓋をしてコトコト煮て、煮汁が少なくなってきたらバターをひと片入れて混ぜる。最後に黒ごまをふって出来上がり。
- ※大学芋とはまた違ってバターの風味が病みつきになります(笑)



# 「ココラボ設置店」より…

## こだわりのお店紹介

### ブランジェリモザイク



藤枝駅南、県立武道館から歩いて5分のお店でフランス風のパンを焼いております。フランス風のパンはバゲット、クロワッサン、ブリオッシュ、自家製酵母パン焼き菓子、発酵菓子、サンドイッチもフランス風にこだわって作っています。モザイクタイルのようないろいろな種類のパン、食事、お菓子、そして人が集うお店を目指しております。

### Boulangerie Mosaïque (ブランジェリモザイク)

藤枝市前島3-5-6  
[TEL] 054-639-9105  
[OPEN] 9:00～18:00  
[定休日] 毎週水曜日  
[URL] <https://painmosaique.com/>

### モザイクさんからお知らせ

#### シュトレン2021の予約が始まります

クリスマスまでの1か月間に少しずつ楽しむシュトレン。年々人気が増していて、今年も10月より予約開始となります。粉糖に包まれたその姿は、白いくるみに包まれた幼子イエスをイメージしているとも言われています。バターたっぷりの生地の中には、洋酒につけたドライフルーツ、ナッツがぎっしり！ちょっと大人向けのリッチな味わいと、日に日に味がなじんで変化していくのが特徴で、クリスマスがさらに待ち遠しくなるお菓子とされています。しっとり仕上げの当店シュトレン、ぜひお話しください。



### さじっとの家



静岡市の中山間地域、通称「オクシズ」に水見色という静かな山里があります。奥といっても市街地からはそれほど遠くなく、JR静岡駅から車で薬科街道を北上して40分ほど。気分転換に訪れるには丁度良い落ち着いた場所です。澄んだ空気の中でいただくスリランカカレーはお腹だけではなく心も満足していただけることでしょう。さじっとの家ならではのカレーと空気と景色をお楽しみください。

### さじっとの家

静岡市葵区水見色885  
[TEL] 080-3284-7058  
[OPEN] 11:00～夕方ごろ  
[定休日] 土・日曜日(詳しく下記facebookでご確認ください)  
[URL] <https://www.facebook.com/kominka.sajith/>

### さじっとさんからお知らせ

#### 景色もカレーのスパイスです！

駐車場には看板がありますが、その先には看板が無く不安になる方もいらっしゃると思います。ご近所の方に尋ねてみたり、それらしき建物を発見したら道を探しながら来ていただきたいです。水見色の山や空を見上げ、迷いながら見つけたお店は、後に過ごす時間がより貴重で特別なものに思えるはずですよ！



発行人 有限会社ころ木造建築研究所  
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2  
TEL : 0547-54-4556  
FAX : 0547-54-4557  
http://www.kokolab.jp  
E-mail : office@kokolab.jp

#### 担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝  
印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や  
コピーを禁じます。



【購読を希望されます方へ】

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は送料として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

#### 会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

#### 編集後記

今年も残す所あと3ヶ月。10月に入ってもまだ暑い日も続き実感が持てませんが、月日は淡々と過ぎていきます。コロナ禍の中、自宅で過ごす時間が増えている方も多く、家づくりの要望も変わってきたように思います。今までは忙しい時間を効率良く過ごすための家事動線や収納計画を重視していた方も、家に居る時間が増えたことで、ぼーっと庭を見たい、子供たちと木工をしたいなど、機能から心の充実を求める要望に変化しているように感じます。住まいに必要なものは何か？ 答えは無いと思いますが、自宅で過ごす時間を利用して、家族でじっくりと考えてみるのも良いかもしれません。

(山崎健治)



## 🏠 藤枝市『若葉の家』完成見学会を行います。

藤枝市で建築の進んでいる『若葉の家』。大工工事が終わり左官や建具などの仕上げ工事に入っています。構造見学会に参加してくれた方も多く、敷地の高低差を利用したビルトインガレージやスキップフロアの子供室、サンルームのある家事動線や大きな土間収納など、完成を楽しみにしている方も多そうです。完成に向けて中庭のデッキや板塀工事、薪ストーブの設置も予定し、たくさんの方に参考になる姿を見ていただきたいと思います。

- ◆ 日時：2021年11月6・7日(土・日) 10:00~17:00(予約制)
- ◆ 場所：藤枝市

※見学会の詳細情報はココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。  
※コロナウィルスの影響により、開催の変更がある場合があります。ホームページにてご案内いたします。

## 🏠 構造見学会

- 静岡市『こころばの家@静岡』
- ◆ 日時：2021年11月14日(日) 10:00~17:00
  - ◆ 場所：静岡市駿河区新川2丁目
- ※予約制となっておりますので、当社までご連絡下さい。

## 🏠 こころば市

ココラボの家づくりで出る端材をお分けします！

- ◆ 日時：11月6日(土) 12月4日(土) 10:00~16:00 小雨決行
- ◆ 場所：ココラボ事務所前

## 木の家相談会 & 『こころばの家』オープン日

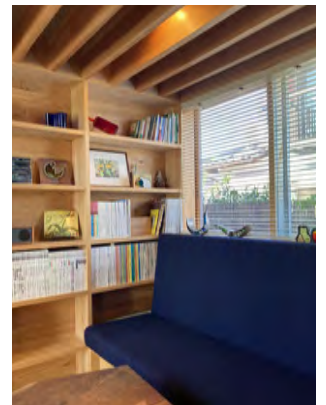
毎月 第1土・日開催

当社では、毎月第一土曜日・日曜日に、木の家相談会と木の家常設展示場の見学を行っています。現場見学会などで実際の建物を見ることは出来ませんが、生活をイメージしたり、ゆっくりと座って話を聞くことはなかなか難しいものです。家づくりが具体的に無い方も、またリフォームを検討している方も、まずは一歩踏み出して、実際の木の家に触れたり話を聞いてみてはいかがでしょうか？ きっと今後につながるヒントが見つかると思います。

### ◆ 木の家相談会

家づくりは何から始めたらいいの？ と相談される方が多くいますが、家族構成や敷地条件などによって様々な入り口があります。また私たちが行っている木の家は、木材をはじめとした自然素材の使い方によっても建物の性能や雰囲気が変わっていきます。木の家相談会では、経験豊富な建築士が個別相談を行い、一人一人に合った、様々な問題について相談を受け付けています。家づくりは一歩踏み出すことから始まります。この相談会を利用して気軽に何でもお訪ね下さい。

- ◆ 日時：11月6・7日(土・日) 12月4・5日(土・日) 10:00~17:00(予約制)
- ◆ 場所：『こころばの家』

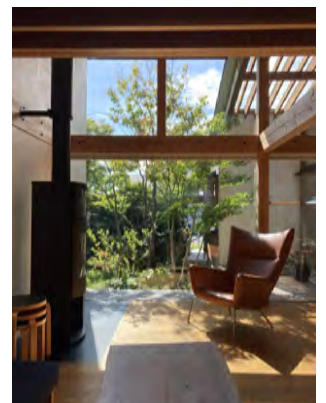


### ◆ 木の家常設展示場オープン日

『こころばの家』見学

『こころばの家』は30坪程のコンパクトな木の家ですが、大きな窓や吹き抜け、視線の通る間取りなど、開放的で心地よい空間を提案しています。また、中庭の植栽を楽しむウッドデッキや造り付けソファ、暖かさや安らぎをあたえてくれる薪ストーブなど、暮らしを楽しむアイデアいっぱいの展示場になっています。住まいは色々な視点で選択肢があると思いますが、木の家を検討するのであれば、ぜひ一度『こころばの家』を見学ください。きっと新しい暮らしがイメージ出来ると思います。

- ◆ 日時：11月6・7日(土・日) 12月4・5日(土・日) 10:00~17:00(予約制)
- ◆ 場所：『こころばの家』



※「木の家相談会」「木の家常設展示場オープン日」とともに、コロナウィルス対策として予約制で行います。ご希望の日時をご連絡ください。